

# 金融仲介機能の発揮に向けた取組み

『金融仲介機能のベンチマーク(平成29年3月末基準)』

平成29年9月



## ～はじめに～

鳥取信用金庫は、「地域密着型金融推進への取組み」として、平成15年4月から2年間の「リレーションシップバンキングの機能強化計画」による集中改善期間を経て、平成17年4月からの2年間は、「地域密着型金融推進計画」として、当初の計画を継続発展させて取り組んでまいりました。

平成26年6月からは理事長交代を機に、「共創」と「共生」を新たな行動指針に掲げ、地方創生に向けてより深化した地域密着型金融推進の具体的な取組みを実行することで、地域の皆様の豊かな生活を「創」「生」し、地域から期待され、信頼される「とりしん」を、役職員一同目指しております。

こうした中、平成28年9月、金融庁から「金融仲介機能のベンチマーク」が公表され、金融機関にはベンチマークへの積極的な取組みを通じて、金融仲介機能の質を高め、お取引先のみなさまの成長力強化や、生産性向上などを実現することが求められています。

鳥取信用金庫では、平成28年度の「金融仲介機能のベンチマーク」の実績を公表するとともに、これまで以上に地域密着型金融の取組みを強化してまいります。

### ■「金融仲介機能のベンチマーク」とは

平成28年9月に金融庁が策定、公表した、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標です。

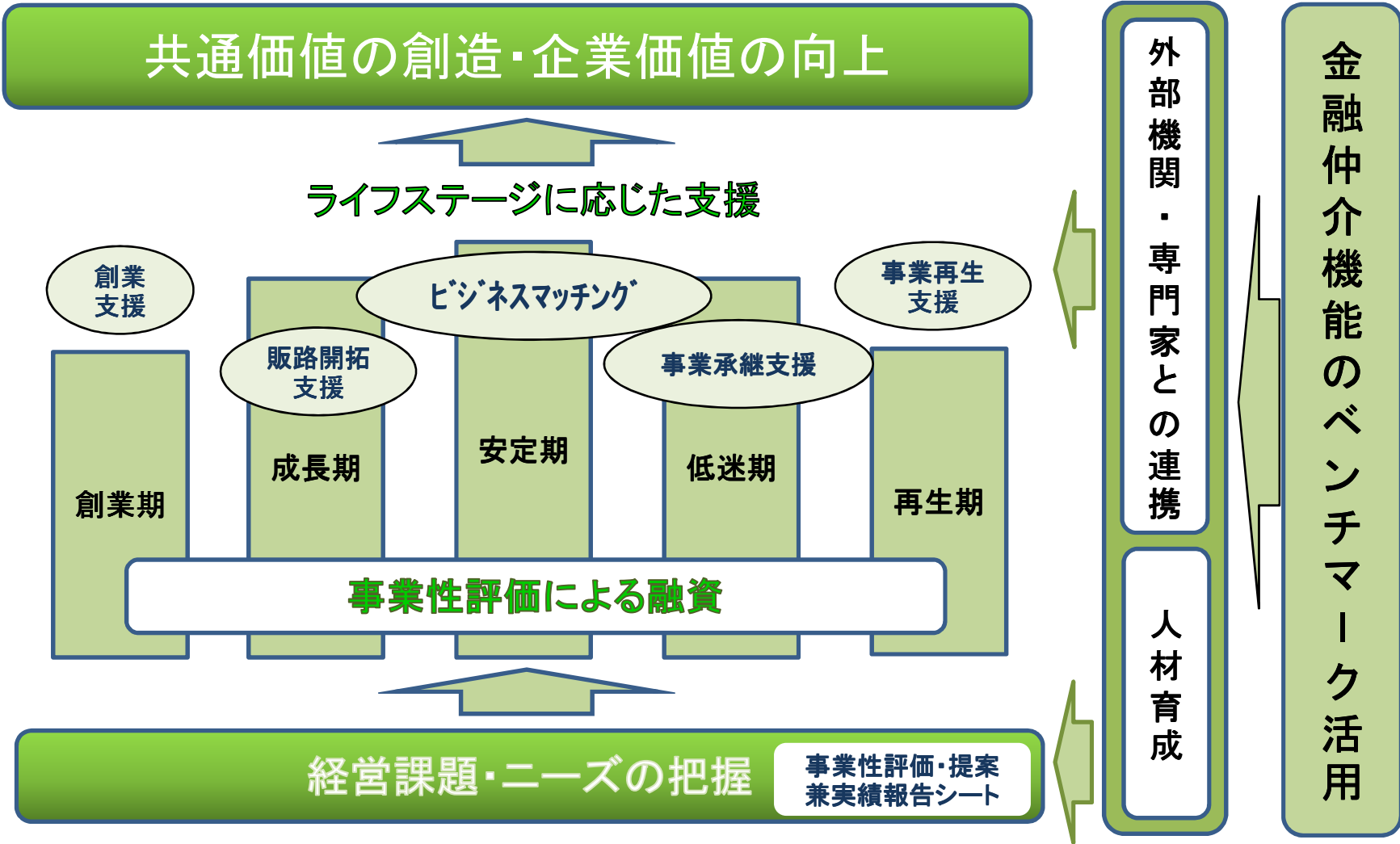
【共通ベンチマーク】全ての金融機関が、金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な指標

【選択ベンチマーク】各金融機関が、自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標

【独自ベンチマーク】各金融機関において、金融仲介機能の取組みを自己評価する上で、相応しい独自の指標

# 金融仲介機能の発揮に向けた取組み 金融仲介機能のベンチマーク

基準日：平成29年3月31日



当金庫は、お取引企業の経営課題やニーズを把握するため、「事業性評価」を実施し、ライフステージに応じた支援のため、様々な取組みを行っています。

# 1. 当金庫のお取引先の状況

## ●メイン先数等の推移

共通ベンチマーク 1

メイン取引先のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数及び同先に対する融資額

メイン先数	635先	うち経営指標が改善した先数	440先
メイン先の融資残高	432億円	上記の融資残高	315億円

◇当金庫をメインバンクとして取引いただいているお取引先のうち、約70%の方の経営が改善しています。

\*メイン先数は、グループベースでカウントしています。

## ●ライフステージ別の与信先数及び融資額

共通ベンチマーク 4

ライフステージ別の与信先数(先数単体ベース)及び融資残高

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	1,505先	86先	105先	1,099先	54先	161先
上記与信先に係る融資残高	676億円	25億円	55億円	399億円	9億円	186億円

◇全与信先のうち80%に当たる「成長期」「安定期」のお取引先に、安定した資金供給を行うとともに、『低迷期』『再生期』のお取引先に対しては、経営改善や再生支援に積極的に取り組んでいます。

定義

- ・創業期:創業、第二創業から5年まで
- ・成長期:売上高平均で直近2期が過去5期の120%超
- ・安定期:売上高平均で直近2期が過去5期の120%~80%
- ・低迷期:売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満
- ・再生期:貸付条件の変更または延滞がある期間

## 2.地域内事業者とのリレーションの状況

当金庫は、鳥取県東・中部・兵庫県但馬地域を中心に地域密着型金融を推進し、金融仲介機能の発揮に努めております。

### ●地域の事業者との取引状況

選択ベンチマーク 1

地域別の取引先数(法人及び個人事業主)(平成29年3月末時点)

	鳥取県の地元	兵庫県の地元	地元外	全地域
取引先数	1,373先	125先	7先	1,505先

\* 取引先数は、単体ベースでカウントしています。

\* 鳥取・兵庫両県の各営業店の営業エリアを「地元」、営業エリア外を「地元外」として区分しています。

### ●メイン取引(融資残高1位)先数および全取引先数に占める割合(平成29年3月末時点)

選択ベンチマーク 2

メイン取引(融資残高1位)先数	681先
全取引先に占める割合	45.2%

\*「メイン取引先数」は、単体ベースでカウントしています。

\*「全取引先に占める割合」は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

### 3.創業・女性活躍へ向けた支援

#### ●創業に関する支援

共通ベンチマーク 3

##### 当金庫が関与した創業、第二創業の件数

当金庫が関与した創業件数	10件	当金庫が関与した第二創業件数	9件
--------------	-----	----------------	----

◇平成28年度は、創業期、第二創業期にあたる19先のお取引先に対し、計画策定や融資等による支援を実施しました。

#### 定義

- ・創業支援・・・創業計画の策定支援、創業期取引先への融資、政府系金融機関等の紹介、ベンチャー企業への投融資・助成金
- ・第二創業・・・すでに事業を営んでいる企業の後継者等が新規事業を開始すること、抜本的な事業再生によって企業が業種を変えて再建すること
- ・創業期・・・事業開始・会社設立から5年以内の期間

#### ●女性塾開講

独自ベンチマーク

##### 女性経営者・幹部候補向けの経営塾開講

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
参加人員	24人	24人	20人

◇平成26年度より、地元の中小企業診断士を講師に招き、経営に活かせるマネジメントの基本手法を身に付けていただくための講義を開講しています。

## 4. 中小企業向け福利厚生支援

### ● 職域サポート契約企業の拡大

独自ベンチマーク

当金庫は、地元の中小企業で働いていらっしゃる従業員の皆さまへの福利厚生サービスの充実を目指し、「職域サポート契約」を締結して頂いた企業の従業員様向けに、預金・貸出金等の優遇サービスを実施しています。

### ■ 職域サポート契約

契約先数	対象従業員数
642先	15,990人

\* 契約対象企業・・・従業員数5名以上の中小企業・個人事業者

\* 各種優遇サービス

- ①「職域サポートローン」の提供
- ②住宅ローン、マイカーローン等への優遇金利適用
- ③定期預金上乗せ金利の適用(キャンペーン期間中)

### ■ 職域ローン

実行件数	実行金額
80件	126百万円

◇職域サポートローン以外にも、住宅ローン、消費者ローン、カードローン等、従業員の皆さんそれぞれのライフステージに応じたサービスを提供しています。

## 5.事業性評価の取組み状況

### ●事業性評価に基づく融資を行っている先数・融資額

共通ベンチマーク 5

当金庫が事業性融資を行っている与信先数、融資額及び全与信先数、融資額に占める割合(単体ベース)

与信先数及び残高	平成29年3月末	
	先 数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている 与信先数及び残高	16先	9億円
上記件数の全与信先及び当該与信先 の融資残高に占める割合	1.1%	1.4%

\*「全与信先及び当該与信先の融資残高に占める割合」は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

◇当金庫は、お取引先の様々なニーズや課題を把握するために、金庫所定の「事業性評価・提案兼実績報告シート」を作成・活用しています。

◇お取引先の業種特性や、定量情報だけでなく、定性情報などを十分理解した上で、販路開拓や専門家・専門機関の紹介等、様々な支援を行い経営改善・業容の拡大に取り組んでいます。



## 6.外部機関との連携

### ●公的機関との連携

選択ベンチマーク 42

お取引先の新たな事業展開へ向け、中小企業再生支援協議会と連携するなど、様々な支援策に取り組んでいます。

	平成28年度
中小企業再生支援協議会	8社
とっとり企業支援ネットワーク	5社

### ●信用保証協会との連携

選択ベンチマーク 10

鳥取・兵庫両県の信用保証協会と連携し、お取引先のステージに応じ、潤沢な資金供給に努めています。

	平成29年3月末
保証協会付融資残高	150億円
(うち100%保証残高)	(42億円)
中小企業向け融資に占める保証協会付融資の割合	22.2%

\*「中小企業向け融資に占める保証協会付融資の割合」は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

### ●不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

お取引先の資金ニーズにお応えするため、信用保証協会と連携を図り、動産担保融資を推進しました。

平成28年度	件数	金額
動産担保融資	4件	69百万円

## 7.経営改善計画の進捗状況

### ●当金庫が貸付条件の変更を行っている中小企業の方の、経営改善計画の進捗状況

共通ベンチマーク 2

◇公的機関や、外部専門家との連携を深め、条件変更先の経営改善に積極的に取り組んでいます。

#### 当金庫が貸出条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

条件変更総数	好調先	順調先	不調先	経営改善計画 未作成先
128社	4社	48社	7社	69社

#### 定義

- ・好調先…売上高、キャッシュフローの両方が計画比120%以上の先
  - ・順調先…売上高、キャッシュフローの両方が計画比80%以上120%未満の先
  - ・不調先…売上高、キャッシュフローの両方が計画比80%未満の先
- \* キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費

◇貸出条件を変更し、かつ経営改善計画を策定されているお取引先のうち、約90%の方の実績が好調・順調に推移しています。

## 8.人材育成

### ●取引先の本業支援に関連する集合研修と、外部派遣研修

選択ベンチマーク 39

本部集合研修	対象者	参加者数	外部派遣研修	主催	参加者数
経営支援研修	融資担当役席	16名	目利き力養成講座	全信協	1名
目利き力強化講座	渉外担当者	12名	目利き力実践講座	全信協	1名
事業性評価勉強会	融資・渉外担当者	131名	目利き力強化講座	中信協	2名
実践的課題解決講座	次長クラス	16名	企業再生支援実践講座	全信協	1名
保証協会付融資研修	融資・渉外担当者	44名	企業再生支援講座	中信協	2名
事業所融資開拓講座	渉外担当者	11名	事業所融資開拓講座	中信協	2名
			事業承継に関する勉強会	中信協	1名
			建設産業支援セミナー	国交省	3名

\* 全信協: 全国信用金庫協会、中信協: 中国地区信用金庫協会

◇当金庫は、「計画的かつ戦略的な人材育成による、職員の能力・スキル向上」という主要課題に沿って、全国信用金庫協会や中国地区信用金庫協会が主催する研修や、外部講師を招聘しての集合研修を計画的に実施し、役職員の課題解決能力の向上に取り組んでいます。

### ●公的資格取得者数

資格名	資格取得者
中小企業診断士	5名
社会保険労務士	1名
農業経営アドバイザー	4名

資格名	資格取得者
ファイナンシャルプランナー1級	3名
ファイナンシャルプランナー2級	37名

◇お取引企業の経営課題解決へ向けた、専門知識習得のため、公的資格取得にも積極的に挑戦しています。